

文教民生分科会 会議記録

- 1 期 日 令和7年1月30日（木）
午前9時55分 開会
午前10時40分 閉会
- 2 場 所 第2委員会室
- 3 出席委員 委員長 清水 寛
副委員長 荒木 慎太郎
委員 須山 泰一、福田 嗣久、
前田 敦司、森垣 康平、
義本 みどり
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明員 （別紙のとおり）
- 6 傍聴人 1名
- 7 事務局職員 主幹兼議事調査係長 小崎 新子
- 8 会議に付した事件 （別紙のとおり）

文教民生分科会長 清水 寛

文 教 民 生 分 科 会 次 第

日時：2025年1月30日（木）本会議休憩中

場所：第2委員会室

1 開 会

2 分科会長あいさつ

3 協議事項

(1) 分担案件の審査

ア 分科会審査

第1号議案 令和6年度豊岡市一般会計補正予算（第8号）

(2) 意見・要望のまとめ

ア 分科会意見・要望のまとめ

4 その他

5 閉 会

文教民生委員会名簿

2025. 1. 30

【委 員】

職 名	氏 名
委 員 長	清 水 寛
副 委 員 長	荒 木 慎太郎
委 員	須 山 泰 一
委 員	福 田 嗣 久
委 員	前 田 敦 司
委 員	森 垣 康 平
委 員	義 本 みどり

7 名

【当 局】出席者に着色をしています。

職 名	氏 名	職 名	氏 名
くらし創造部 生活環境課長	和田 哲也	こども未来部 こども未来部長	永井 義久
生活環境課参事	佐田美佐樹	こども未来課長	若森和歌子
市民部 市民部長	植田 教夫	こども未来課参事	佐伯 勝巳
窓口サービス課長	川崎 智朗	こども支援課長	吉本 努
国保・年金課長	惠後原孝一	観光文化部 観光文化部長	米田 紀子
城崎振興局 市民福祉課長	西松 秩里	文化・スポーツ振興課長	原田 泰三
竹野振興局 市民福祉課長	吉村 容子	文化・スポーツ振興課参事	福井 孝道
日高振興局 市民福祉課長	小野 弘順	文化・スポーツ振興課参事	小川 一昭
出石振興局 市民福祉課長	成田 和博	文化・スポーツ振興課参事	藤原 孝行
但東振興局 市民福祉課長	柏木 敏高	文化・スポーツ振興課参事	武縄 真明
		新文化会館整備推進室長	村田 一紀

職 名	氏 名	職 名	氏 名
健康福祉部 健康福祉部長	原田 政彦	教育委員会 教育次長	正木 一郎
社会福祉課長	丸谷 祐二	教育総務課長	木之瀬晋弥
高年介護課長	定元 秀之	教育総務課参事	野崎 律男
高年介護課参事	木村 弥江	教育総務課参事	栞垣 敦子
高年介護課参事	玉島 正雄	教育総務課参事	本庄 昇
福祉監査課長	宮野 千晶	教育総務課参事	加藤 哲夫
健康増進課長	宮本 和幸	学校教育課長	寺坂 浩司
健康増進課参事	村尾 恵美	学校教育課参事	吉谷 孝憲
健康増進課参事	武田 満之	学校教育課参事	服部 隆
		幼児育成課長	向原 芳江
		幼児育成課参事	河本 美佳
		幼児育成課参事	三輪 純子
		幼児育成課参事	谷口 祥規
		社会教育課長	旭 和則

【事 務 局】

計 12 名

職 名	氏 名
議会事務局主幹兼 議事調査係長	小崎 新子

午前9時55分開会

○分科会長（清水 寛） 皆さん、おそろいの方ですので、ちょっと時間、定刻よりも早いですけれども、ただいまより文教民生分科会を開会いたします。

まず、最初に、本日は傍聴の申出がございますので、許可いたしております。

それでは、早速ですけど、協議事項のほうに入りたいと思います。

これより3の協議事項1のア、分担案件の審査に入ります。

審査日程ですが、まず予算決算委員会付託議案に係る当分科会に分担された議案の説明、質疑、討論、表決を行います。その後、委員のみで分科会意見、要望等の取りまとめを行います。委員の皆さん、当局の皆さん、説明、質疑、答弁に当たりましては、くれぐれも要点を押さえて簡潔明瞭に行うなど、スムーズな議事進行に格別のご協力をお願いいたします。

また、発言の最初には必ず課名と名字をお願いいたします。

それでは、第1号議案、令和6年度豊岡市一般会計補正予算（第8号）を議題といたします。

当局の説明は、歳出、歳入等の順に一気に説明をお願いいたします。

説明に当たっては、資料のページ番号をお知らせください。

なお、質疑は、全部署の説明が終わった後に一括して行います。

それでは、くらし創造部から順に説明をお願いいたします。

くらし創造部生活環境課、佐田参事。

○生活環境課参事（佐田美佐樹） では、第1号議案のうち、生活環境課分についてご説明をいたします。まずは、歳出を説明します。

議案書は18、19ページをお開きください。一番右の説明の欄、上から4枠目になります。防犯対策事業費、補助金に300万円を計上しております。これは特殊詐欺被害防止のための自動録音機能付

電話機等の購入に係る補助金です。

市内の特殊詐欺被害状況は、昨年1月から11月末までに、被害件数13件、被害額は約1,850万円となっており、件数、金額ともに前年を上回っております。

市では、今年度、65歳以上の方が市内の販売店で自動録音機能付電話機を購入した場合の費用を補助しており、来月7日に申請期限を迎えますが、依然として特殊詐欺被害の認知件数、被害額とも増加していることから、国の総合経済対策の交付金を活用し、自動録音機能付電話機の購入に係る補助を引き続き実施することとし、計上するものです。

補助上限額は、これまでと同様、自動録音機能付電話機は1万円、外付録音機は5,000円で、上限までであれば補助額の全額を補助します。

なお、本補正予算に係る補助は、2025年1月31日以降に豊岡市内の販売店で購入した人を対象要件とし、2025年3月3日から申請を受け付ける予定です。

続いて、歳入でございます。14、15ページをお開きください。歳入の補助金の財源は、国からの地方創生臨時交付金10分の10を充てることとしており、上から3枠目の国庫支出金、国庫補助金の枠の下、地方創生臨時交付金2億7,318万9,000円の一部でございます。

続きまして、6ページをご覧ください。第2表、繰越明許費補正です。一番上の総務費、総務管理費の防犯対策事業です。今ご説明しました自動録音機能付電話機等の購入に係る補助につきましては、申請期間を2025年3月3日から12月頃までの予定で、全額300万円を繰り越すこととし、計上しております。

生活環境課の説明は以上です。

○分科会長（清水 寛） 続きまして、健康福祉部社会福祉課、丸谷課長。

○社会福祉課長（丸谷 祐二） それでは、歳出から説明をさせていただきます。

19ページをご覧ください。19ページ、下の表の説明欄でございます。1行目、地域生活支援事業

費でございます。その中で、まず7行目にあります交付金の物価高騰対策支援金につきましては、高齢者及び障害者の関係施設といたしましては、国の総合経済対策を踏まえて、兵庫県による光熱費等高騰対策一時支援金が支給をされておりますが、地域活動支援センターについてはその対象外となっております。

このため、昨今の光熱水費や食費等の高騰に対応しまして、市内の9つの地域活動支援センターに対し、独自で支援をするものでございます。

支援金の金額につきましては、兵庫県の実施いたします令和6年度障害者施設等における光熱費等高騰対策一時支援金に倣いまして、定員10から19名の事業所へは3万円、20から29名の事業者に対しましては5万円として、総額29万円を計上しております。

また、次の行でございます。障害児世帯生活支援給付金につきましては、障害のある児童のいる世帯におきましては、対象児の介護等によりまして就労が制約されることが多く、物価高騰等による影響が大きいということから、これらの障害を持つ子供の世帯に対し、その生活、暮らしを支援するために実施するものでございます。

対象者としましては、本年2月1日時点で、手帳もしくは受給者証を所持、または障害福祉サービスの利用、もしくは手当受給等をされており、かつ申請時点で豊岡市在住である18歳以下の児童の方を対象に、680人と見込んでおります。対象児童1人当たり2万円を支給することにいたしまして、支援金の金額は総額で1,360万円として計上しております。

対象等の世帯につきましては、2月以降に支給要件確認書を送付し、申請を受けまして支給を開始するというようにしております。

後先になりますけれども、説明欄2行目の消耗品費の6,000円から5行目の手数料7万6,000円につきましては、これらの支援金給付事業を行うために必要な事務的経費を計上しております。

続きまして、歳入です。戻っていただきまして、

15ページをご覧ください。上から3番目の表になります。国庫補助金の2段目、地方創生臨時交付金2億7,318万9,000円のうち、先ほど説明いたしました物価高騰対策支援金及び障害児世帯生活支援給付金の交付に係る補助金が1,427万6,000円でございます。補助率は10分の10となっております。

最後に、繰越明許費の補正になっております。6ページにまた戻って、ご覧ください。事業名の上から2つ目、地域生活支援事業1,398万5,000円は、先ほど説明させていただきました障害児世帯生活支援給付金の支給に係る事業費について、令和7年度に繰り越すものでございます。

次の段の住民税非課税世帯生活支援給付金支給事業2億9,140万2,000円は、去る12月議会でお認めいただきました住民税非課税世帯に対する1世帯当たり3万円と当該世帯に属する児童に対する1人当たり2万円を支給する給付金事業に係る事業分について、令和7年度に繰り越すものでございます。

社会福祉課の説明は以上です。

○分科会長（清水 寛） 続いて、こども未来部こども未来課、若森課長。

○こども未来課長（若森和歌子） 議案書の20、21ページの、21ページ一番上、子育て世帯生活応援商品券支給事業費1億3,047万2,000円です。子育て世帯への商品券を送付する郵便料と事業委託の費用を計上しております。

対象につきましては、2025年2月1日現在で住民票がある現在高校3年生相当以下のいらっしゃる世帯に対しまして、子供1人当たり1万円の商品券を直接配付するものです。

対象者につきましては、約1万1,500人、対象世帯は約6,400世帯を見込んでおります。

なお、この事業につきましては、環境経済課のプレミアム付商品券事業と一緒に実施したいと考えております。

配付の時期についてですが、少しでも早く届くように努めていきたいと思っています。

歳入になります。財源については、資料15ページになります。上から3枠目、国庫補助金の下の行になります。地方創生臨時交付金となります。このうち、歳出予算額全額の1億3,047万2,000円を充当しております。

次に、資料6ページになります。繰越明許費です。上から4行目、児童福祉費の子育て世帯生活応援商品券支給事業として、繰越明許費の設定を行っております。

こども未来課からは以上です。

○分科会長（清水 寛） 続いて、観光文化部、新文化会館整備推進室、村田室長。

○新文化会館整備推進室長（村田 一紀） 観光文化部新文化会館整備推進室からは、債務負担行為の補正になります。

7ページをご覧ください。囲みの3段目、豊岡市民会館長寿命化調査業務について説明をさせていただきます。

昨年に新文化会館機能をいかに維持するかという観点に立ち、可能性を比較検討した結果、市民会館を大規模改修し、文化会館機能を維持していくということで方向性を示させていただきました。

12月定例会の議論の中で、豊岡市民会館の現状をしっかりと把握すべきと数多くの意見を賜ったこともありまして、基本設計業務に先立ち、再度老朽度調査等に着手していくものでございます。現市民会館の老朽度、躯体の健全性の調査をすることで、現在の躯体の状況把握に努めていきたいと考えております。

このことから、長寿命化調査業務として1,500万円を限度額とする債務負担行為をお願いするものでございます。よろしく願いをいたします。

観光文化部からは以上でございます。

○分科会長（清水 寛） 続いて、教育委員会教育総務課、木之瀬課長。

○教育総務課長（木之瀬晋弥） それでは、教育総務課分を説明いたします。

最初に、歳出でございます。議案書23ページをお開きください。一番下の枠、賄用需用費でござい

ます。これは物価高騰の影響を受けている学校給食の提供に係る食材料費について、1月から3月まで1食当たり小学校は9円増額し、272円に、中学校は11円増額し、310円にすることといたしまして、286万5,000円を計上するものでございます。

なお、保護者への負担増を抑制するため、児童生徒の増額分につきましては、国の地方創生臨時交付金を利用し、公費負担いたします。

次に、歳入でございます。議案書15ページをお開きください。上から3つ目の表の下の枠、地方創生臨時交付金のうち、247万2,000円を、歳出で説明しました学校給食食材料費増額分のうち、児童生徒分に充当いたします。

次に、17ページをお開きください。下から2つ目の表の上の枠、学校給食徴収金でございます。こちらも歳出で説明しました学校給食食材料費増額分のうち、教職員等の自己負担分といたしまして39万3,000円を計上いたしております。

教育総務課分の説明は以上でございます。

○分科会長（清水 寛） 続いて、幼児育成課、向原課長。

○幼児育成課長（向原 芳江） まず、歳出からです。

21ページをご覧ください。上段の表の2枠目の放課後児童健全育成事業費36万円、こちらは物価高騰対策支援金です。昨年度もありましたが、県の補助金を利用しまして、民間の放課後児童クラブに対して光熱水費等の高騰分の一部を支援するものです。

対象施設は3施設です。

次に、その下、3枠目、私立保育園等振興事業費530万4,000円、その下の物価高騰対策事業費補助金ですが、114万4,000円、こちらは国の地方創生臨時交付金の物価高騰対応重点支援を利用しまして、民間の保育所、認定こども園、小規模保育所、認可外保育施設に対する給食提供に係る食材の物価高騰分、消費者物価指数4%程度上昇分を支援するものです。

その下の物価高騰対策支援金416万円につい

ては、先ほど放課後児童クラブで説明しましたのと同様に、県の補助金を利用して民間の保育所、認定こども園、小規模保育所、認可外保育施設に対して光熱費等の高騰分の一部を支援するものです。

いずれも対象施設は、認可保育施設21施設、認可外保育施設3施設、合計24施設です。

次に、その下の4枠目の児童保育運営事業費41万円、こちらは賄い材料費です。豊岡市立の園の給食の提供に係る1月から3月分の食材費の物価高騰分、消費者物価指数4%程度の上昇分を国の物価高騰対応重点支援を利用して増額するものです。

続いて、歳入です。15ページをご覧ください。上から3つ目の表の2枠目、地方創生臨時交付金のうち、幼児育成課分は、歳出で説明しました私立保育園等振興事業費の物価高騰対策事業費補助金分の114万4,000円と児童保育運営事業費の賄い材料費分32万5,000円の合計146万9,000円になります。

次に、その下の表の1枠目、保育施設等一時支援補助金452万円は、歳出で説明しました放課後児童健全育成事業費と私立保育園等振興事業費の物価高騰対策支援金に対する県の補助金です。補助率は10分の10になります。

次に、17ページをご覧ください。上から3つ目の表の2枠目の3行目、保育所給食費負担金8万5,000円は、先ほど歳出で説明しました公立園の給食費の職員負担分の増額分です。

幼児育成課の説明は以上です。

○分科会長（清水 寛） 説明は終わりました。

それでは、質疑はありませんか。

福田委員。

○委員（福田 嗣久） 今、地方創生臨時交付金を用いての物価対策の手当ということで、障害児の2万円、それから高校生以下の1万円っておっしゃいましたかな、非常に有意義な施策というふうに判断しております。

その中で、説明にあった4%の物価対策、物価高騰というのはどっから数字が出てきてるんですか。消費者物価指数、国からでしょうか。ちょっとその

辺を説明していただきたい。口頭で4%の物価対策に応じてというような言い方を皆さんされてますけれど。

○分科会長（清水 寛） 教育総務課長。

○教育総務課長（木之瀬晋弥） そうしましたら、学校給食費の件を例にして少し説明をさせていただきます。

学校給食費につきましては、消費者物価指数を基にして算定をしているところでございます。

○委員（福田 嗣久） そがいなもんかいな。

○教育総務課長（木之瀬晋弥） はい。現在までの消費者物価指数でございますが、2020年を100として示しております、2024年の4月現在で116.3になっておる。これは食料品の物価指数となっております。こちらが10月現在の物価指数120ということになっておりますので、約4ポイント上昇してるというようなところでございまして、給食費につきましてはそれを基にして計算をしております。

○委員（福田 嗣久） 分かりました。

それにこだわってるわけじゃないんですけど、市場の物価高が大変こう、障害者のおうち、あるいは低所得のおうち、あるいは子育て中のおうち、かかっておると思いますんで、先ほども説明がございました、できるだけ早くその1万円にせよ、あるいは2万円にせよ、給付ができるような体制をつくらせていただきたいをお願いしておきたいと思っております。

それで、私の体感的には4%どころじゃないなという状況です。そんな気がしますんで、大変このインフレあるいは物価高が豊岡市に及ぼしてる影響が大きいと判断しておりますので、ぜひその辺を、意を用いながら今後も対応していただきたいというふうなことは、全般についてお願いしておきたいと思っております。

それともう一つ、市民会館の老朽度調査1,500万円ございました。理解はしてるんですけども、これは七、八、九年前に耐震をしたときに、同じ老朽度調査はされたんですか。ちょっとその辺ご説

明ください。

○分科会長（清水 寛） 村田室長。

○新文化会館整備推進室長（村田 一紀） 2011年にまずは調査をいたしております。そのときには、耐震の調査ということでコアを抜いて調査をしています。その次に、長寿命化の調査ということで、2017年に本市の長寿命化の調査を行っております。以上です。

○委員（福田 嗣久） はい、分かりました。

○分科会長（清水 寛） 福田委員。

○委員（福田 嗣久） それと、同じ調査をされるのでしょうか。

○分科会長（清水 寛） 村田室長。

○新文化会館整備推進室長（村田 一紀） 今、2011年と同じ調査を行う予定にしております。そのデータの比較をさせていただいて、またお示しさせていただきたいというふうに思っております。以上です。

○委員（福田 嗣久） はい、分かりました。

○分科会長（清水 寛） 福田委員。

○委員（福田 嗣久） そうすると、2011年と2017年の調査では、問題がなかったということで理解してよろしいんですか。

○分科会長（清水 寛） 村田室長。

○新文化会館整備推進室長（村田 一紀） その時も異常はないということで進めております。

○委員（福田 嗣久） はい、分かりました。

○分科会長（清水 寛） よろしいですか。

○委員（福田 嗣久） はい、結構です。

○分科会長（清水 寛） ほかにありませんか。
義本委員。

○委員（義本みどり） 2件お尋ねさせてください。

1点目は、自動録音付電話機の普及促進なんですけど、補正でまたつけるっていうことは、前もずっとやられとって、すごくニーズがあるのかなと思うんですが、なかなかつけていただくのって、こちらから声かけしないと大変なんですけど、どのようなことをされてるか、頑張っておられると思うので聞かせてください。

○分科会長（清水 寛） 佐田参事。

○生活環境課参事（佐田美佐樹） 設置の普及促進につきましては、兵庫県警察、具体的には豊岡、豊岡警察署になりますけれども、と連携しまして、様々、警察のほうにも戸別訪問みたいなことをさせていただいておりますので、その辺りとか、あと、販売店のほうにも協力していただきながら普及のほうに努めております。以上です。

○分科会長（清水 寛） 義本委員。

○委員（義本みどり） ありがとうございます。

なかなか、注意でこういう詐欺に気をつけてくださいと言っても届かないかと思っておりますので、物理的に防がないといけないと個人的には思っておりますので、引き続き頑張ってください。

もう1点は、地域活動支援センターの運営支援事業なり、以前も1回した、電気代とかが払えないとかでされたことがあって、そのときの現場の方からは、助かったとかそんな声が上がったんじゃないかと思うんですが、いかがでしょうか。

○分科会長（清水 寛） 丸谷課長。

○社会福祉課長（丸谷 祐二） 昨年も同様の物価高騰対策といたしまして、地域活動支援センターへの支援を実施しております。非常にそれぞれのセンターを運営されてる事業所からは、大変助かったというふうな、非常に大変ありがたいお言葉をいただきました。今回も物価そのものはなかなか上昇傾向にありまして、非常にいずれも運営が厳しいということでございますので、今回も同様に評価していただけたらなというふうに現在のところ考えているところでございます。できるだけ速やかに、これについても実施をしたいと思っております。

○分科会長（清水 寛） 義本委員。

○委員（義本みどり） 何か物を作って収益が上がる場所もありますけれども、そうじゃなくて、本当に障害特性を理解しながら寄り添って居場所づくりをやっているような大切なところだと思いますので、こういう小さいきめ細やかなことができるのは市しかできないことだと思いますので、よろしく願いいたします。以上です。

○分科会長（清水 寛） よろしいですか。

ほかありませんか。

○委員（福田 嗣久） もう一つだけ。

○分科会長（清水 寛） 福田委員。

○委員（福田 嗣久） さっきの防犯の電話の件で、その前の説明で、7月から11月かな、13件、1、850万円の被害というふうに言われましたね。金融機関も農協でも、大変この共通のそういう話に神経を使っておるようにも見受けてるんですけども、具体的には我々直に聞きませんが、だましの話はよく聞きますんですけど、どのような事案、事例があるんですか。ちょっと教えていただけますか。いろんなところで話を聞いておいたほうがなる。お願いしたいと思います。どんなようのだましがあるか、具体的に。

○分科会長（清水 寛） 佐田参事。

○生活環境課参事（佐田美佐樹） 一番兵庫県で多い事例としましては。

○委員（福田 嗣久） 豊岡は。

○生活環境課参事（佐田美佐樹） 豊岡でも多いです。豊岡でも被害が一番多いです。還付金詐欺っていうものでして、役所とかそういった公的機関を語って保険料などの還付金がありますというような電話を受けまして、その後、うまいやり取りをしてATMまで誘導して、言われるまま操作してお金をだまし取られてしまうという被害が一番多いんです。先ほど13件と言いましたが、このうち11件が還付金詐欺になっております。あとの2件は架空請求詐欺といいまして、未払いの料金がありますよというようなところで電話をかけた後、あと、SNSのLINEというふうなところに誘導してお金をだまし取るというような手口です。以上です。

○分科会長（清水 寛） 福田委員。

○委員（福田 嗣久） 分かりました。還付金詐欺、それが11件。

もう一つは、どれぐらいの年代の人が多いんですか。我々ですか。

○分科会長（清水 寛） 佐田参事。

○生活環境課参事（佐田美佐樹） 豊岡の今のこの1

3件の年齢はちょっと把握してないんですけども、兵庫県の統計になって申し訳ないんですけども、男性は65歳以上の方が約8割、女性は65歳以上の方が6割という被害状況です。

○委員（福田 嗣久） 分かりました。

○分科会長（清水 寛） よろしいか。

○委員（福田 嗣久） よろしいです。

○分科会長（清水 寛） 義本委員。

○委員（義本みどり） 今、福田委員のを聞きながらちょっと思い出したことがあります。詐欺についてなんですけど、先進自治体では、たしか、逮捕された人たちが悪い人たちが持つてる名簿、そういう情報を基に、何かその情報から戸別訪問をして、そういう名簿に載ってる方のところの情報を得て、多分条例をつくったりとかいろいろせなあかんと思うんですけど、そういうことを取り組んでる自治体がぼつぼつあるような気がするんですが、どうでしょうか。

○分科会長（清水 寛） 佐田参事。

○生活環境課参事（佐田美佐樹） 今、義本委員がおっしゃられたちょっと取組については詳しくはちょっと承知をしてないんですけども、確かに名簿的なものが出てくるんじゃないかというような、例えば六十何歳の方に集中してかかってきて、それらの相談が消費者センターのほうに入ってくるっていう日があったりとか、何かこういう年代の名簿が漏れてるんじゃないかというようなことをお伺いすることもあります。ちょっとその先進自治体の事例については、今後また研究をさせていただきたいなというふうに思っております。以上でございます。

○分科会長（清水 寛） 義本委員。

○委員（義本みどり） 多分、滋賀県野洲市だったと、野洲市、だんだん思い出してきました。多分その中で情報もらって、例えば個人情報を共有しますみたいな、そういう何かをつくってると思います。相談員はよく承知してるかと思しますので、相談員からまた情報を仕入れて勉強していただければと思います。よろしくお願いたします。

○分科会長（清水 寛） いいですか。

○委員（義本みどり） はい、以上です。

○分科会長（清水 寛） 須山委員。

○委員（須山 泰一） 給食費のことで、少し物価対策で下げて、4年かけて元に戻すと。来年度で3年目ぐらいですか。その中で今回こういう物価対策とかかれて、どう言われたかな、物価対策の分を9円、11円、小学校は272円、中学校393円、これは要は上がってる中で今回はちょっと下げる。この4年で少しずつ給食費を元に戻すという意味で、上げてる中で今回9円、11円は、1月から3月を下げるということですよ。それに間違いないかなど。

そうすると、来年4月からは、今度は上げ幅が大きくなるんじゃないかなど、ややこしいなというふうに思っております。そういうことで間違いないか、教えていただきたいのと、あと、子育てのほうで、商品券の上乗せというような施策あります。ある意味、今回、これまで商品券はなかったのが、今回何でそれを商品券にされたのかをお聞きします。

○分科会長（清水 寛） 本庄参事。

○教育総務課参事（本庄 昇） 先ほどおっしゃいました学校給食費、小学校9円、中学校11円の話なんですけども、これは保護者負担を9円なり11円下げようというものではなくて、食材料費のほうを小学校9円、中学校11円上乗せして、1月から3月までの保護者負担は現在のまま据え置くということですよ。

○分科会長（清水 寛） 須山委員。

○委員（須山 泰一） じゃあ、でも、払う給食費は9円、11円の分掛ける30日分というか、給食提供、下がる、下がる、給食費は下がる。

○分科会長（清水 寛） 本庄参事。

○教育総務課参事（本庄 昇） 下がるわけではなくて、12月までと同じ給食費を払っていただくんですけども、食材料費の補助で、その9円、11円をみさせていただくということですよ。

○委員（須山 泰一） 分かりました。

○分科会長（清水 寛） それから、もう1件。若森課長。

○こども未来課長（若森和歌子） まず、上乗せに当たりますのは、プレミアム分の上乗せではなくて、独自でということですよ。

商品券事業につきましては、昨年の3月の末にギフトカードの配付、同じ1万円をしています。その実績については、1万1,347人に配付しまして、1億789万1,000円ほどの消費につながったということがあります。

今回、商品券にしたのは、前は急ぎでしないといけないということ、独自でしないといけないので、既存のサービスを利用して早く届けるということに重きを置いたところがあります。

今回、環境経済課でプレミアム付商品券事業を実施されますので、その枠組みに、のっかる形で、直接商品券を送付して、すぐに使っていただける商品券にしたということです。以上です。

○分科会長（清水 寛） 須山委員。

○委員（須山 泰一） 2つの質問とも、分かりましたけど、物価対策で学校給食に関しては、また、繰り返しになりますけど、また引下げを求めて頑張っていこうと思います。どうもありがとうございます。

○分科会長（清水 寛） ほかがございませんか。

森垣委員。

○委員（森垣 康平） すみません、市民会館の長寿命化のことでちょっとお聞きしたいんですけど、先ほどの説明でよく分かりました。前回との比較を出していくってということなんですが、今回、長寿命化の今の案ですか、こんなふうは大改造しますみたいな話の中で、ステージの拡張とか、ちょっと躯体自体を大きく触るみたいな案があったと思うんですけど、その場合に、今の建物が耐えられるかみたいなことは、全く今回は調査しないという理解でよろしいんですか。

○分科会長（清水 寛） 村田室長。

○新文化会館整備推進室長（村田 一紀） 躯体自体の調査を行うだけで、今の躯体がどうなんだっていうところのジャッジをするための調査です。なので、ステージを拡張するとかっていうことに関しては、躯体は今のところ自由に変更する思いは変わりま

せんので、まずは今の軀体をどうなのっていう調査に努めさせていただきたいというふうに思います。以上です。

○委員（森垣 康平） 分かりました。

○分科会長（清水 寛） よろしいですか。

○委員（森垣 康平） はい。

○分科会長（清水 寛） ほかがございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（清水 寛） それでは、質疑を打ち切ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（清水 寛） 討論を打ち切ります。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり可決すべきものと決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（清水 寛） 異議なしと認めます。よって、第1号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

以上で、分科会に分担されました議案に対する審査は終了しました。

ここで委員の皆さん、当局職員の皆さんから何かありましたらご発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（清水 寛） それでは、当局職員の皆さんは退席していただいて結構です。お疲れさまでした。

暫時休憩します。

午前10時32分休憩

午前10時34分再開

○分科会長（清水 寛） それでは、分科会を再開いたします。

次に、協議事項2番のア、分科会意見・要望のまとめに入ります。

当分科会の意見・要望として、予算決算委員会に報告すべき内容について協議いただきたいと思います。

本日分科会で審査いたしました第1号議案につ

いて、分科会意見・要望についてご発言があればお願いします。

須山委員。

○委員（須山 泰一） 学校給食は、将来的にも再三対策を打って引上げを食い止めようとしてる中で、豊岡市の4年かけて引き上げるというのは、ちょっと珍しいんじゃないかと思えますけどね。ちょっと再検討して。（発言する者あり）

○分科会長（清水 寛） 暫時休憩します。

午前10時35分休憩

午前10時38分再開

○分科会長（清水 寛） 再開します。

先ほど須山委員のほうから給食費の引上げについて少し再考を求めるといようなことを意見としてつけたらどうかといようなことがありましたけども、皆さんのご意見をお伺いしたいと思えますけれども、いかが思われますか。

○委員（森垣 康平） 今あえてつけなくてもいいかなと思います。

○分科会長（清水 寛） そしたら、今、須山委員のほうからご提案がありました内容については、今回は特に意見として付すことではなく、当局のほうの動きを見ていくといようなことでよろしいですかね。

須山委員、その形でよろしいでしょうか。

○委員（須山 泰一） はい。

○分科会長（清水 寛） あと、もう1点、子育て世帯への商品券、また障害者への取組ということで、意見交換をする中で速やかな対応をといような言葉がありましたけども、当然委員のほうからの声もあるんですけど、当局のほうからも同様の表現があったといことで、あえてその部分についてもよろしいですね。（発言する者あり）

ならそういうふうに、そうしましたら、分科会のほうでは特に何も付すことをしないといようなところで、あとは正副の分科会長に一任いただきたいと思います。ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（清水 寛） そうしましたら、異議なしと認め、そのように決定しました。

最後に、協議事項4、その他についてを議題いたします。

委員の皆さんから何か協議や意見交換などすべき事項があればご発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（清水 寛） じゃあ、特にないようですので、以上をもちまして文教民生分科会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午前10時40分閉会
